

保護者の皆様へ

9月26日（木）5時間目に道徳の授業を行います。

当日の授業について、ご案内いたします。

道徳授業シラバス

道徳の授業について

- ・価値を押しつけたり行為を身に付けたりするための勉強ではありません。
- ・お話の主人公の気持ちに共感し、その上で自分自身の心の中を見つめる時間です。
- ・道徳では、次の4つのものに関わる心について学びます。

A 自分自身に関すること

- 1 善悪の判断、自律、自由と責任
- 2 正直、誠実
- 3 節度、節制
- 4 個性の伸長
- 5 希望と勇気、努力と強い意志

1年間の  
道徳の  
授業内容  
(1・2年)

C 集団や社会との関わりに関すること

- 10 規則の尊重
- 11 公正、公平、社会正義
- 12 勤労、公共の精神
- 13 家族愛、家庭生活の充実
- 14 よりよい学校生活、集団生活の充実
- 15 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
- 16 国際理解、国際親善

B 人との関わりに関すること

- 6 親切、思いやり
- 7 感謝
- 8 礼儀
- 9 友情、信頼

当日は  
ここです！

D 生命や自然との関わりに関すること

- 17 生命の尊さ
- 18 自然愛護
- 19 感動、畏敬の念

くりのみ (出典 学研教育みらい「みんなの道徳」 1年)

(お話のあらすじ)

北風が吹く、寒い森。腹ペこのきつねとうさぎが、食料を探しに出かける。たくさんのどんぐりを見つけたきつねは、独り占めしようと落ち葉で隠し、うさぎに何もなかったとうそをつく。一方、うさぎは、やっと見つけた二つのくりの実のうちの一つを、きつねに分けてあげる。くりの実を手にしたきつねは、ぼろっと涙をこぼす。

学びを深めるために次の3点を話し合います！

授業のねらい 主人公に自分を重ねて考え、話し合うことを通して、身近な友達と仲よく活動し、助け合うことの大切さに気づき、困っているときには互いに助け合おうとする心情を育てる。

①きつねがどんぐりを隠した場面

②きつねがくりの実をにぎりしめると、涙をぼろっとこぼした場面

③くりの実をうさぎからもらった場面

評価の視点

- ・役割演技で助けたときのきつねの心情を考えることを通して、助け合うことの大切さを考えている。
- ・友達と助け合うためにどうしたらよいか、自分との関わりで考えている。

保護者のみなさまへ

- ・おうちに帰りましたら、今日の授業を話題として語り合ってください。
- また、仲よく活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さなどをお子さんに話してあげてください。

保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。授業の感想ご意見をご記入ください。